

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】岐阜県文化振興基本計画（仮称）策定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化創造課 企画係 電話番号：058-272-1111(内3117)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,466 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,466	0	0	0	0	0	0	0	3,466
決定額	3,466	0	0	0	0	0	0	0	3,466

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県の文化振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進のため、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」及び「清流の国ぎふ総文2024」の開催成果を踏まえつつ、時機を逸することなく、令和7年度に国の文化芸術基本法に基づく新たな基本計画を策定する。

策定にあたっては、計画検討の基礎資料とするため、県民の文化に関する意識や文化活動の状況、文化振興に対するニーズの調査・分析を行うとともに、多様な意見を基本計画に反映するため、各分野の有識者で構成する会議体を設置する。

(2) 事業内容

① 県民意識調査の実施

<概要>

- ・調査時期 令和6年11月（予定）
- ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人
- ・標本数 2,000人
- ・抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ・調査方法 郵送法・オンライン調査法
- ・設問構成 文化芸術の鑑賞活動の状況、鑑賞以外の文化芸術活動（創作、出演、習い事等）の状況、文化芸術活動の頻度、地域の文化的環境、自身を取り巻く文化的環境 など 20問程度
- ・調査結果 基本計画策定をはじめ、各種文化施策の推進に活用

② 有識者会議の設置

委員数：15名程度

開催時期：令和7年2～3月頃

開催時期：令和1年4月～5月頃

開催内容：「岐阜県文化振興基本計画（仮称）」の策定について

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(本県の文化施策の推進のための事業であり、県が主体となる。)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	158	有識者会議報償費
旅費	70	有識者会議費用弁償 等
役員費	154	調査票回収費用 等
委託料	3,001	文化に関する県民意識調査の実施、調査対象者の抽出
使用料	16	有識者会議会場使用料
その他	67	消耗品費(調査票発送封筒代、有識者会議資料代 等)、会議費
合計	3,466	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承・発信

(2) 国・他県の状況

県民意識調査：中部9県のうち、6県が実施

有識者会議：中部9県のうち、7県が設置

(3) 後年度の財政負担

県の文化振興施策を効果的に推進するため、次年度以降も継続していく。

(県民意識調査については、基本計画の改定にあわせて実施予定)

(4) 事業主体及びその妥当性

県独自調査のため、県が実施主体

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和7年度に「岐阜県文化振興基本計画（仮称）」を策定する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

把握した県民意識や有識者の意見を計画策定に反映することが目的であり、調査や会議の実施自体に目標値・成果はない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	本県の文化行政を効果的に推進するため、県民の文化に関する意識や文化活動の状況、文化振興に対するニーズを具体的に把握するとともに、有識者から意見を聴取することが必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 回答の適切な分析と、令和7年度に策定を予定する新たな基本計画への調査結果の反映が必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】